



第2620地区ガバナー 稲葉 雅之
新富士RC 会長 長原 良成
幹事 潮来 克士



国際ロータリークラブ第2620地区 静岡第2グループ

新富士ロータリークラブ会報

2025-26年度 RI 会長メッセージ

よいことのために手を取りあおう

RI会長フランチェスコ・アレツコ

例会場・事務所 富士市本町5番1号

富士グリーンホテル高橋 内 TEL: 0545-64-1900

例会日時: 毎月第2・3・4火曜日 12:30~13:30

第1,562回例会 2026/6/16 (火)

例会場: 富士グリーンホテル高橋

司会

※ロータリーソング

※今年度のRIテーマ唱和

※四つのテスト唱和



ロータリークラブは
「心の友」、「人」、「信用」、
「感動」、「夢」、「青春」、
「平和」をつくる団体です



会場監督 小山 哲君

会長挨拶

長原良成 会長



こんにちは

今日は弁当屋の倒産件数についてお話したいと思います。

各事業の倒産件数が増加しているのですが弁当屋の倒産件数も過去最多を更新し続けています。

富士市では高齢者向けに食の自立支援というサービスがあります。

高齢者宅に安否確認もかねてお弁当を届けるというサービスです。

当初は15件ほどあった事業所も現在では9件まで減少しています。

食の自立支援のサービスは、一人暮らしや高齢者のみの世帯で生活していく中で孤独死や異変をいち早く気付ける食と高齢者の生活を守る重要な役割を担っています。

この物価高騰などにより廃業に追い込まれる事業者が増えています。

介護と食について企業人として力を入れてきた私なので、食の自立支援事業に参入を決めました。

日本の食を守りたいと思い農業をはじめ味噌や日本古来の調味料を手作りして来たので、それを生かした弁当作りをしていきたいと思っています。

40代最後の年を思いのある事業に力を入れていきたいと思っています。

幹事報告

潮来克士 幹事



夏の交通安全運動

令和8年7月10日(土)から7月20日(月)までの10日間

県民一人一人が、安全を第一に考え、交通ルールの遵守と交通マナーの実践に努めることにより、交通事故防止を図る

「スローガン」安全をつなげて広げて事故ゼロへ

「運動の重点」

1 こどもと高齢者の交通事故防止 2 自転車と二輪車の安全利用の推進 3 飲酒運転等危険運転の根絶

4 各市町交通安全対策協議会等が決定する事項

行事名・内容

運動に先立つ広報街頭指導の日 7月10日(金)

本運動の開始を広報するとともに、街頭における交通指導等を行い、期間中に行われる各種活動への取組意識を高める。

自転車安全利用強化の日 7月15日(水)

「自転車安全利用五則」等を活用した基本的な交通ルールの遵守と自転車乗車用ヘルメット着用に関する広報啓発を推進する。

飲酒運転等危険運転根絶の日 7月17日(金)

「飲酒運転をしない・させない」環境づくりを推進するとともに、妨害運転(いわゆる「あおり運転」)を未然に防ぐ「思いやり・ゆずりあい」の気持ちを持った運転の必要性に関する広報啓発を推進する。

出席報告

例会回数	計算会員数	出席者	欠席者数	MU	出席率
1,562回	18人	12人	6人	0人	66.7%

本日の欠席者

久保田元久 君	金刺哲弥 君	望月かおり 君	高橋孝行 君	渡邊哲男 君
稲葉邦文 君				



出席報告 野村ゆり子君



スマイル報告 鈴木清久君

私のスマイル

- ※ 堀井健治 君
- ※ 鈴木清久 君
- ※ 小山 哲 君
- ※ 潮来克士 君
- ※ 渡邊勝英 君

卓話楽しみにしています。

グリーンホテルのピアガーデン開催しました。暑い中頑張りましょう。
先日2回目の高齢者運転免許認知テストと実地テスト、無事パスしました。

最後の月になりました。もう一息です。

現在自宅リフォーム中で不便です。早く自宅に戻りたいです。

- ※ 長原良成 君
- ※ 和田三郎 君
- ※ 本多修身 君
- ※ 木村憲司 君

菅井さん鈴木さん、本日の草語よろしくお願ひして
ます。
本日は私の高校の後輩、菅井良美様にCNFについ
てお話をさせていただきます。
期末のゴルフの参加者が少ないので参加願いま
す。1年間はあるという間です。
サッカー世界大会初戦に日本が上位クラブのブラ
ジルの引き分けて良いスタートとなりました。

今日も美味しくて
お腹いっぱい



今日の食事 すき焼き丼 デザート !!

卓話

CNF（セルロースナノファイバー）

講師 菅井 良美 氏

CNF (セルロースナノファイバー)

講師 菅井 良美 氏



Q. なぜ、CNF は環境に優しいの？

A. 皆さんは、地球温暖化や海洋プラスチックのごみ問題などを、テレビのニュースなどで聞いたことがあると思います。これは、化石資源（石油や石炭など）を使うことが原因です。この問題の解決に向けて注目されているのが、CNFなど、植物由来の素材です。

例えば、プラスチックにCNFを配合することで化石由来の樹脂を削減できたり、自動車部材にCNFを使うことで軽量化されてガソリンの使用量を減らすことができます。

Q. なぜ、富士市が CNF に取り組んでいるの？

A. 富士市は、製紙業を中心に発展してきました。CNFの作り方は、紙の作り方と途中まで同じで、CNF製紙会社を中心となって、CNFの研究やものがけを進めることができます。

また、CNFは、さまざまな産業に使える可能性がある素材です。製紙業の他にも、自動車や食品など、いろいろな産業で使われるものづくりのまちである富士市では、いろいろなものにCNFを使うことを期待して、CNFが広まってくるという事業を力強く応援しています。

富士市 産業交流部 産業政策課 CNF・産業戦略担当
〒417-8601 静岡県富士市永田町1丁目100番地
TEL:0545-55-2779(直通) / FAX:0545-51-1997